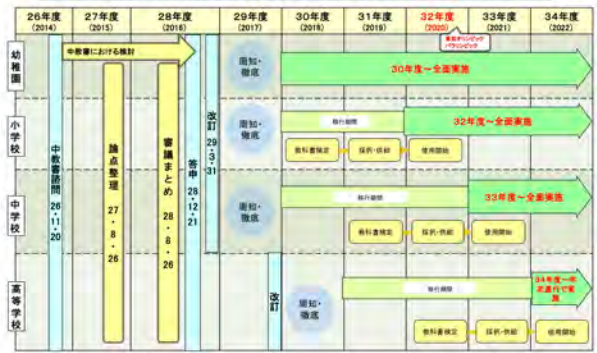


今、学校水泳で目指すべきもの

徳島市川内北小学校
篠原健真

今後の学習指導要領改訂に関するスケジュール (現時点の進捗を元にしたイメージ)



特別支援学校学習指導要領(幼稚園及び小学部・中学部)についても、平成29年4月28日に改訂告示を公示。特別支援学校学習指導要領(高等学校)についても、高等学校学習指導要領と一体的に改訂を進める。

学習指導要領改訂の方向性

新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に活かすこととする
学びに向かう力・人間性等の育成

生きて働く知識・技能の習得
思考力・判断力・表現力等の育成

何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育成

「社会に関わられた教育課程」の実現

各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実現

何を学ぶか

新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた
教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化、高校の動科目【公共(後
継)】の新設など

各教科等で得る資質・能力を明確化し、目標や内容を構造的
的に示す

学習内容の精選は行わない。

どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び(「アクティブ・
ラーニング」)の視点からの学習過程の改善

生きて働く知識・技能の習得
など、新しい時代に求
められる資質・能力を育成

知識の量を増減せず、質
の高い理解を促すための
学習過程の再構築

主体的な学び
対話的な学び
深い学び

主体的・対話的で深い学びの実現

(「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業改善)について (イメージ)

「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行うことで、学校教育における質の高い学びを実現し、学習
内容を深く理解し、資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的(アクティブ)に学び続けるようにすること

【主体的な学び】

学ぶことと興味や関心をもち、自己のキャリア創
造の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り
強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につ
なげる「主体的な学び」が実現できているか。

【例】

学ぶことと興味や関心をもち、粘り強く
取り組む。見通しを
持って粘り強く取り組むとともに、自らの学習をま
とめ振り返り、次の学習につなげる

・「キャリア・パスポート(巻頭)」などを活用
し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、
振り返る。

【対話的な学び】

学級や地域の人との対話、主体的な考
えを相手なりに考えること等を通じて、自己の考えを
「対話的な学び」が実現できているか。

【例】

学級で働く人々が連携・協働して得意に見られる課題を解決
しようとする。実社会の人の話を聴いたりすること
で自らの考えを広げる

・あらかじめ個人で考えたことを、意見交換したり、議論した
り、互いに新しい考えに気づいたり、自分の考えをよ
り豊かにするものとしたりする

・学習活動の場に加え、子供と教師、子供と地域の人、本を通
して他者の考えと対話する

【深い学び】

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の
特質に応じた「見方・考え力」を養いながら、知識を結
構的に整理し、より深く理解したり、情報を統合して考
えを形成したり、問題を発見して解決策を考えたり、思い
や考えを基に創造したりすることに向かう「深い学び」が
実現できているか。

【例】

課題の中から自ら問いを発し、課題の追究、課題の解
決を行う探究の過程に取り組む

・ 精選した情報を自ら自分の考えを形成したり、目的や場
景、状況に応じて伝えたり、考えを伝え合うことを通
して集団としての考えを形成したりして、

・ 習得を促すだけでなく、思いや考えを基に、豊かに課題や問題を
創造していく

【深い学び】

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の
特質に応じた「見方・考え力」を養いながら、知識を結
構的に整理し、より深く理解したり、情報を統合して考
えを形成したり、問題を発見して解決策を考えたり、思い
や考えを基に創造したりすることに向かう「深い学び」が
実現できているか。

【例】

課題の中から自ら問いを発し、課題の追究、課題の解
決を行う探究の過程に取り組む

・ 精選した情報を自ら自分の考えを形成したり、目的や場
景、状況に応じて伝えたり、考えを伝え合うことを通
して集団としての考えを形成したりして、

・ 習得を促すだけでなく、思いや考えを基に、豊かに課題や問題を
創造していく

育成すべき資質・能力の三つの柱

学びに向かう力
人間性等

どのように社会・世界と関わり、
よりよい人生を送るか

「確かな学力」「健やかな心」「豊かな心」を
総合的にとらえて構造化

何を理解しているか
何ができるか

知識・技能

理解していること・できる
ことをどう使うか

思考力・判断力・表現力等

学校教育が目指すものは資質・能力の育成

資質・能力とは

- 各教科等の学習を通して育まれる資質・能力
- 学習の基盤となる資質・能力
- 現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力

学校水泳研究会 2018

学校教育が目指すものは資質・能力の育成

学習の基盤となる資質・能力とは

- 言語能力
- 情報活用能力(情報モラルを含む)
- 問題発見・解決能力等

それぞれの教科等の役割を明確にしなが
教科横断的な視点で育む。

小学校学習指導要領解説 総則編より

学校水泳研究会 2018

現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力

- 健康・安全・食に関する力
- 主権者として求められる力
- 新たな価値を生み出す豊かな創造性
- グローバル化の中で多様性を尊重するとともに、現在まで受け継がれてきた我が国固有の領土や歴史について理解し、伝統や文化を尊重しつつ、多様な他者と協働しながら目標に向かって挑戦する力
- 地域や社会における産業の役割を理解し、地域創生等に生かす力
- 自然環境や資源の有限性等の中で持続可能な社会をつくる力
- 豊かなスポーツライフを実現する力

それぞれの教科等の役割を明確にしなが
教科横断的な視点で育む。

小学校学習指導要領解説 総則編より

学校水泳研究会 2018

現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力

- **健康・安全・食**に関する力 ※赤字は体育・保健体育に関する部分
- 主権者として求められる力
- 新たな価値を生み出す豊かな創造性
- グローバル化の中で**多様性を尊重**するとともに、現在まで受け継がれてきた我が国固有の領土や歴史について理解し、**伝統や文化を尊重**しつつ、**多様な他者と協働しながら目標に向かって挑戦する力**
- 地域や社会における産業の役割を理解し、地域創生等に生かす力
- 自然環境や資源の有限性等の中で持続可能な社会をつくる力
- **豊かなスポーツライフを実現する力**

それぞれの教科等の役割を明確にしなが
教科横断的な視点で育む。

小学校学習指導要領解説 総則編付録6より

学校水泳研究会 2018

各教科等の学習を通して育まれる資質・能力

小学校体育の目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次の通り育成することを目指す。

- (1)その特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。
- (2)運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3)運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。

小学校学習指導要領解説 体育編より

学校水泳研究会 2018

各教科等の学習を通して育まれる資質・能力

小学校体育の目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し**豊かなスポーツライフを実現**するための資質・能力を次の通り育成することを目指す。

- (1)その特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における**健康・安全**について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。
- (2)運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3)運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。

小学校学習指導要領解説 体育編より

学校水泳研究会 2018

○豊かなスポーツライフを実現する力

○健康・安全・食に関する力

○体育の見方・考え方を働かせる

体育の見方・考え方

運動やスポーツを、その価値や特性に着目して、楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉え、自己の適性等に応じた『する・みる・支える・知る』の多様な関わり方と関連付けること

スポーツの価値

公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全

「水泳」という視点でそれぞれを考えてみる

小学校学習指導要領解説 体育編より

学校水泳研究会 2018

スポーツとしての水泳



記録や技、勝敗を競う競技スポーツ



日本水泳連盟HP“<http://www.swim.or.jp>”より 引用

学校水泳研究会 2018

スポーツとしての水泳



自然の中で水の活動をアウトドアスポーツ



画像はインターネットより 引用

学校水泳研究会 2018

スポーツとしての水泳



体力の向上、健康維持などの健康スポーツ

画像はインターネットより 引用

学校水泳研究会 2018

豊かなスポーツライフを実現する

水泳における豊かなスポーツライフとは何か？



体育の見方・考え方

運動やスポーツを、その価値や特性に着目して、楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉え、**自己の適性等**に応じた『**する・みる・支える・知る**』の多様な関わり方と関連付けること

豊かなスポーツ(水泳)ライフを実現するとは、**自分の適性に応じて水泳との関わり方を選択**でき、**継続して取り組む**ことができること

学校水泳研究会 2018

健康・安全・食に関する力



水泳における安全

- 主体的に水辺活動を行う際の危険から命を守る
- 日常的に関わる水辺での危険から命を守る
- 自然災害時に起こる水の危険から命を守る



学研 中学校保健体育教科書より

学校水泳研究会 2018

豊かなスポーツライフ、健康、安全の視点から水泳を考えた時に必要なこと

- 水の中で安心できる(水中での恐怖心の払拭) **いつまでも浮いていられる。溺れる心配がない。**
- 水の中で自由自在に移動・身体操作ができる。 **三次元の移動が可能である。**
- 記録や技に挑戦したり、競争したりする楽しみを知っている。 **競技の魅力を感じる。**

これらを学校の授業の中で体験的に学習し、身に付けることができればよい。

学校水泳研究会 2018

学習指導要領における水泳は

小学校1・2年生 D 水遊び

水の中を移動する運動遊び、もぐる・浮く運動遊び

小学校3・4年生 D 水泳運動

浮いて進む運動、もぐる・浮く運動

小学校5・6年生 D 水泳運動

クロール、平泳ぎ、安全確保につながる運動

中学校1・2年生 D 水泳

クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライ

中学校3・高校 D 水泳

クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライ

複数の泳法で長く泳ぐまたはリレー

学校水泳研究会 2018

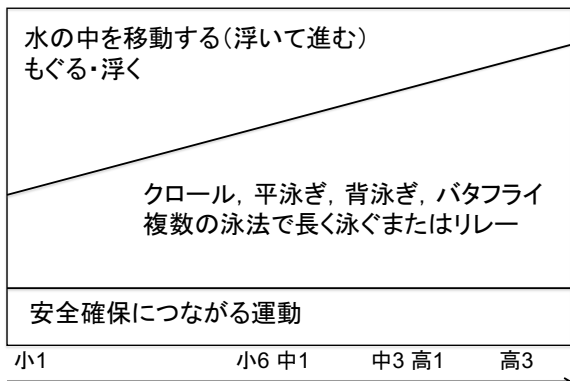
学習指導要領における水泳を整理する

- 水の中を移動する(浮いて進む)
- もぐる・浮く
- クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライ
- 安全確保につながる運動
- 複数の泳法で長く泳ぐまたはリレー

各学年で示された目標・内容と、系統性を考えながら授業の中で取り扱っていくとよい。

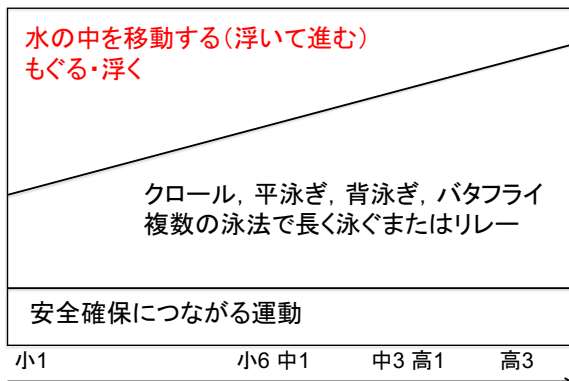
学校水泳研究会 2018

学習指導要領における水泳を整理する



学校水泳研究会 2018

学習指導要領における水泳を整理する



学校水泳研究会 2018

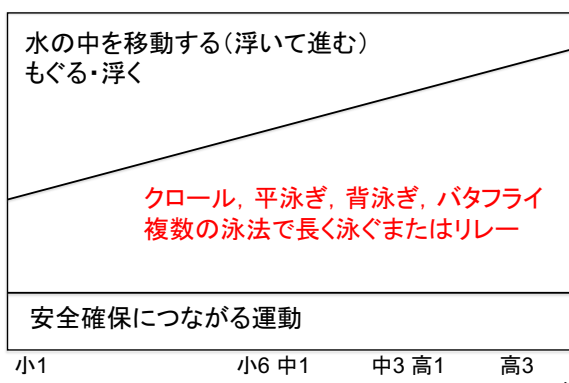
学習指導要領における水泳を整理する

**水の中を移動する(浮いて進む)
もぐる・浮く**

- 水泳の導入段階において大切な「水の中を移動する(浮いて進む)」、「もぐる・浮く」は、どの学年の授業でも取り扱うことが効果的。**泳法の獲得を急がず、基礎的な力をじっくりとつけるべき。**

学校水泳研究会 2018

学習指導要領における水泳を整理する



学校水泳研究会 2018

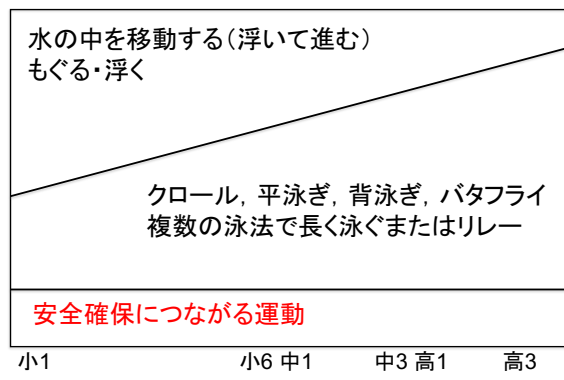
学習指導要領における水泳を整理する

**クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライ
複数の泳法で長く泳ぐまたはリレー**

- 「クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライ」及び「複数の泳法で長く泳ぐまたはリレー」は、児童生徒の実態に応じて柔軟に取り扱ふとよい。競技としての側面も体験しやすいことから様々な楽しみ方(関わり方)ができる。見る、支える、調べるなど。ただし、**あくまでも水泳の中の1つである**ことを忘れない。

学校水泳研究会 2018

学習指導要領における水泳を整理する



学校水泳研究会 2018

学習指導要領における水泳を整理する

安全確保につながる運動

- 「安全確保につながる運動」は形を変えて、どの学年でも取り扱ふべき。特に、浮くときの姿勢は体の成長に伴い、組成が変わり(筋肉量など)浮心・重心の位置が変わるため、安定して浮くための姿勢も変わる。毎年実施して、**児童生徒が自信を持って浮くことができるように**する。

学校水泳研究会 2018

今、学校水泳で目指すべきもの

- 水の中を移動する(浮いて進む)
- もぐる・浮く
- クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライ
- 安全確保につながる運動
- 複数の泳法で長く泳ぐまたはリレー

体育の見方・考え方

運動やスポーツを、その価値や特性に着目して、楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉え、自己の適性等に応じた『する・みる・支える・知る』の多様な関わり方と関連付けること

スポーツの価値

公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全

学校の水泳で学習する内容の系統性を理解し、体育の見方・考え方を働かせた学習ができるような授業、指導を行うこと

学校水泳研究会 2018

まとめ

- 児童・生徒が水泳を学習する中で、水泳の様々な力を身につける。(資質・能力)
- その過程で楽しさや喜びを感じたり、達成感を得たりする。
- 「水泳の学習をしてよかった。これからも水泳をしたい。水泳に関わりたい。」と感じる。

水泳が

- 自分の命を守るために必要なことである。
- 生涯にわたって、関わる事ができるスポーツのひとつになる。